

読書の家から



新刊案内

■みずうみ読書の家

へ一般▽真夏の方程式、ブルータスの心臓(東野圭吾)▽ほとどの神様(関口尚)▽ウツボカズラの夢、風紋(乃南アサ)▽三十光年の星たち 上・下(宮本輝)▽下流の宴(林真理子)▽虹の岬の喫茶店(森沢明夫)▽ふがいない僕は空を見た(窪美澄)▽白樺の樹の下で(青山文平)▽覇者一矢ノ矢(佐伯泰英)▽チヨコ(宮部みゆき)▽逆境を超えてゆく者へ(新渡戸稲造)▽日本考古学事典(三省堂)▽緋文の暮らし

を掘る(阿部芳郎)▽新三河物語 上・中・下(宮城谷昌光)▽遠い椿(澤田ふじこ)▽昆虫とたのしみ(今森光彦)▽平和をつくった世界の20人(ケン・ペラー)

へロータリー文庫▽北海道の石(北海道大学図書刊行会)▽地震予知の科学(地震予知学会)▽火山と地震の国に暮らす(鎌田浩毅)▽天災と日本人(寺田寅彦)▽地球の中心で何が起きているのか(巽好幸)



大西さんまちの記録映像を寄贈

町内の行事などを長年記録してきた大西疏さん(洞第1)が、8月2日役場を訪れ、真屋町長に、これまで撮影してきた映像のDVD 82枚を手渡しました。

今回寄贈されたのは、旧洞爺村時代の昭和48年からの映像記録で、自身でVHSビデオテープからDVD版にダビングしたものです。

大西さんは「故郷の歴史を、多くの町民に見てもらいたい」と話していました。



真屋町長にDVDを渡す大西さん(左)

●開館時間

午前10時より午後4時20分まで

●9月休館日

15日・19日・22日・23日・29日

・10月6日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家 ☎ 76・2100

みずうみ読書の家 ☎ 75・4702

あぶた読書の家 休館のお知らせ

あぶた読書の家は、先月号でもお知らせしましたが、建設されて31年が経過し、老朽化が進んでいるため改修工事を実施することにになり、11月13日まで休館となっております。
ご理解とご協力をお願いいたします。

それにともない、同所前の通路も10月31日まで通り抜けが禁止されています。

わたしのうた

短歌

【あぶた短歌会】

八月定例会



虚弱児といはれて育ちしわれが身に

かさねし齡よわいのこのおもたさは

身の回りの片づけすれば亡き人の

便りなどあり捨て難きかな

うつし世の波さわがしき明け暮れも

酷暑を咲きたる赤きベコニア

注文のとぎれぬ藤の製品を

編みたる妻の指さき歪む

忿怒かと思へるかほに秘める慈悲

われのこころも縋らむと寄る(高砂不動明王)

人気なき住宅街をダイケアの

送迎バスの音のみひびく

はなはなの咲き道の駅賑はいぬ

湾沿いの西日追い掛け汽笛かな

高台の校舎西日を返しけり

スーパーの出入り急しく西日濃し

大西日背に仄ほぐらき仏具店

うたた寝の醒めて西日となりぬたり

山本 孝

北島 加代

大西 芳子

太田 智

赤塚 瑛子

元田 フジ子

三瓶 修

小笠原 勇

矢野 知子

那須 伶子

井村 育子

菅原 敏子

俳句

【あぶた俳句会】

八月定例会